

新庁舎建設基本構想検討中間報告会の概要

1. 実施形式

市担当から新庁舎建設基本構想（素案）の概要を説明し，参加者が個々の意見を述べる懇談会形式

2. 開催日程・参加者数

	日時	会場	参加者
1	11月10日（土）午前10時	市役所 書庫棟会議室	4人
2	11月12日（月）午後2時	光公民館	8人
3	11月13日（火）午後6時30分	ひかりプラザ	4人
4	11月14日（水）午後2時	本多公民館	6人
5	11月16日（金）午後2時	恋ヶ窪公民館	6人
6	11月19日（月）午後2時	北町地域センター	2人
7	11月19日（月）午後6時30分	リオンホール	14人
8	11月22日（月）午後2時	もとまち公民館	1人

3. 頂いた意見の概要とその会場

意見（概要）	市役所	光	ひかり	本多	恋ヶ窪	北町	リオン	もとまち
○新庁舎の建替えについて								
泉町に移転する場合は現庁舎用地の跡地活用も合わせて検討すべきである。	○	○		○	○		○	
一日も早く建替えてほしい。		○			○		○	
維持管理費の縮減等を考慮してほしい。			○		○			
コンパクトな庁舎にして建設費を抑えてほしい。				○	○			
庁舎単体ではなく，周辺公共施設を含むまちづくりの視点で考えてほしい。			○				○	
集約化によって空きが出る公共施設の活用についても一体的に考えてほしい。					○			
将来を考えると，余裕をもって面積を大きめにつくった方がよい。						○		
起債により，事業費を将来世代にわたって分担して支払う必要性もあると思う。							○	
○新庁舎の建設場所について								
防災性を重視し泉町所有地が良いと思う。	○	○	○	○	○			
泉町所有地は駅から距離があるため，高齢者の利用を考えるとアクセスについての検討が必要。	○				○			
地理的な中心に近い現庁舎用地が望ましい。				○				○
現庁舎用地での建替えは近隣への圧迫感がある。	○							
現庁舎用地は建設工事期間が長すぎる。	○							
利便性が高く，歴史と文化の中心として期待できる西国分寺駅周辺が望ましい。		○						
泉町所有地は費用が課題となっており，借金を抱えることについてどのように説明するかが重要。			○					
自宅から近いので現庁舎用地の方がいい。						○		

意見（概要）	市役所	光	ひかり	本多	恋ヶ窪	北町	リオン	もとまち
○新庁舎の機能について								
飲食スペースなど，子どもから高齢者までが集える空間があるのが望ましい。	○		○					
ワンフロアが大きくなる場合は，歩く距離が長くなりすぎないように配慮してほしい。	○							
障害者にやさしい施設にしてほしい。				○				
市役所に行けば何でも1か所で解決できるようにしてほしい。					○			
出張所機能が各所に分散してあった方が利便性が高い。							○	
○新庁舎建設基本構想（素案）について								
（「国分寺の心を育む」という基本理念について）新庁舎建設に限定すると若干の違和感があるが，まちづくりという広い視点で捉えれば違和感はない。	○	○	○	○			○	
より効果的な市民への周知方法や市民参加の機会を今後も検討してもらいたい。	○	○				○	○	○
市としての考えを具体的に示したほうがよい。	○	○	○		○			

4. 主な質疑応答

質疑	回答
泉町に移転する場合は現庁舎用地の跡地活用も合わせて考えるべきである。	泉町所有地に移転する場合は，庁舎を中心にまちがつけられてきた歴史も踏まえ，跡地活用とセットで検討を行う必要があると考えている。
泉町所有地は駅から遠いのではないか。	「徒歩圏」については，国の考え方も参考に高齢者の利用も考慮し，500mと設定した。現庁舎の利用者の交通手段について調査したところ，自転車や自動車での来庁が多かった。駅からの距離に加え，駐車場や駐輪場が確保されていることも重要だと考えている。
無駄な出費がないようにしてほしい。	現庁舎用地では仮設庁舎という一時的な利用のための費用が必要になる。一方で泉町所有地では恒久的な利用となる用地取得のための費用が必要となる。どちらが無駄と感じるかについては，意見が分かれるところである。
建物の高さを考慮し，地下を活用してはどうか。	基本計画や設計において継続的に検討するが，一般的には地下を活用すると建設費は高くなる傾向がある。
泉町所有地に移ったらぶんバスのルートはどのように考えているのか。	ぶんバスについては，市民アンケートでも利便性を検討してほしいとの意見もあり，検討課題であると考えている。